10　東大久保・農地・水・環境保全協議会　　埼玉県富士見市

農業、農村環境・景観保全

菜の花咲かせて地域交流

活動の経緯

地域の優良な農地等の資源及び景観を将来にわたり守り続けるため、農業者だけでなく、地域をあげて諸活動に取り組む必要があるとの気運が高まり、平成20年に、農業者、町内会やＪＡ組織などが参画して、協議会を設立。

活動の概要

水田に菜の花を植栽し、水稲の緑肥にするとともに「東大久保菜の花フェスタ」を開催、イベントを通じた都市農村交流を図る。

水路の草刈り

東大久保菜の花フェスタの気球

活動の成果、主な実績等

○技術を持つ構成員が中心となって、農道の砂利敷き等を実施。
　また、共同作業の体制が整っていることから、令和元年の台風19号の災害の際には、水田に稲わらが堆積して営農を妨げたが、速やかに対策会議を開催して稲わらを撤去し、営農を再開できた。
○菜の花を植栽した水田において、他団体との共催で「東大久保菜の花フェスタ」を開催。協議会が発案した気球のフライトが、希望者が乗ることが可能なことで好評なほか、地元農産物が販売されＰＲに貢献している。
○栽培技術の普及と変化する気象条件に応じた栽培方法を習得することを目的に、平成18年、女性農業者のための稲作講習会「東大久保・母ちゃんたちの田んぼ塾」を発足し、環境に優しいお米の栽培に取り組んでいる。